

# あびら 議会だより



安平町菜の花さんぽ（晴天の中走る幌馬車）

第77号

2025年8月

---

● 6月定例会

**早来学園冷房設備改修機械設備  
工事請負契約締結を可決！ ほか**

---

● 6月定例会 一般質問〔14件〕

**7名の議員が町政を問う！**

---

● 4月臨時会

**教育委員の任命に同意！ ほか**

---

# 早来学園冷房設備改修機械設備 工事請負契約締結を可決！

令和 7 年

第 5 回

## 定例会

6月18日～19日

6月18日から19日までの2日間にわたり開催した第5回定例会では、令和6年度の一般会計繰越明許費繰越計算書の報告に続き7名の議員からの一般質問を行い、任期満了に伴う人権擁護委員の推薦についての諮問の後、安平町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び安平町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてのほか条例改正3件と、早来学園冷房設備改修機械設備工事請負契約の締結についてを審議し、一般会計を含む全6会計の補正予算と意見書案4件について審議し閉会しました。

### 審議した案件

#### 報 告

◎令和6年度安平町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

令和6年度内の事業完了が困難である4件の事業について、翌年度に繰り越したことの報告がなされました。

○事業名と翌年度繰越額

・民間賃貸共同住宅等建設支援事業

900万円

・非課税世帯臨時特別給付金支給事業

307万円

### 人事案件

◎人権擁護委員の推薦について【新任】

9月30日で金川優美子氏が任期満了となるため、後任として櫻井尚見氏の推薦を行うことについて意見を求められ、適任と回答することに決定しました。



さくらい なおみ  
櫻井尚見氏(新任)

◎人権擁護委員の推薦について【再任】

9月30日で任期満了となる佐々木学嗣氏の再任の推薦を行うことについて意見を求められ、適任と回答することに決定しました。

・非課税の子育て世帯臨時特別給付金事業  
29万9千円  
・早来学園冷房設備改修事業  
1億228万9千円

### 条例の一部改正

4件の条例の一部改正について審議を行い、それぞれ原案のとおり可決しました。

▼安平町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び安平町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本年4月の人事院規則の改正による地方公務員の部分休業の一部改正に伴い、妊娠・出産を申し出た職員への情報提供及び配慮等の義務づけと育児部分休業制度の創設について所要の改正を行うもので、令和7年10月1日の施行となります。



ささき がくじ  
佐々木学嗣氏(再任)

▼安平町職員の給与に関する条例及び安平町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

令和6年度人事院勧告に基づき一般職の職員の給与に関する法律の一部改正に伴い、管理職員特別勤務手当の支給対象時間の拡大及び公営企業会計の再任用職員へ支給対象を拡大するもので、令和7年4月1日に遡及して適用されます。

▼安平町財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

胆振東部消防事務組合との行政財産の貸付けに関する案件が発生したことから、今後発生しうる類似の事例に対応するため所要の改正を行うもので、公布の日から施行となります。

▼安平町物産館条例の一部を改正する条例の制定について

JR早来駅との合築施設となつている安平町物産館

は、夕方以降の来場者数が極めて少ないことから閉館時間を午後5時までと1時間早めるもので、令和7年9月1日から施行となります。

## 契約の締結

▼早来学園冷房設備改修機械設備工事請負契約の締結について

早来学園の冷房設備改修機械設備工事を施工するための契約を締結するもので、原案のとおり可決しました。

・契約の目的

早来学園冷房設備改修機械設備工事

・契約の方法

一般競争入札

・契約の金額

6160万円

・契約の相手方

池田・廣和経常建設共同企業体

代表者

苫小牧市川沿町

6丁目19番16号

池田煖房工業株式会社

苫小牧営業所

所長 加藤 良文

構成員

安平町早来大町

116番地

有限会社 廣和工業

代表取締役

鍋谷 敏幸

## 解説

この契約は早来学園の1階9室と2階7室の計16室に冷房設備を設置する工事の契約で、工事の予定期間は令和7年6月27日から令和8年3月17日までとなっています。



## 補正予算

一般会計のほか5件の各会計にかかる補正予算を審議し、原案のとおり可決しました。

▼一般会計補正予算(第2号)

歳入では令和6年度一般会計決算による繰越金の増額等と、歳出は定額減税補足給付金支給事業費の計上等によるもので、歳入歳出それぞれ1億2887万4千円を追加し、予算の総額を86億6617万7千円とするもの。

歳出の主なもの

(100万円以上)

○総務費

・電算機器等管理経費

129万5千円増

・指定統計調査事務経費

166万7千円増

・庁舎管理経費

142万9千円増

・地域公共交通対策事業

923万8千円増

・定住促進事業

1750万円増

・地域活性化起業人活用事業

442万5千円増

・マイナンバーカード交付等事業

217万1千円増

・戸籍情報システム改修事業

215万4千円増

## 解説

来年の5月26日以降戸籍にフリガナが記載されます

今回の補正予算に計上された戸籍情報システム改修事業では、本籍地が安平町にある方へ戸籍のお名前に記載される予定のフリガナを確認していただくための葉書の作成及び送付する費用が補正されました。

葉書は8月末日までに役場から発送されます。葉書に書かれたフリガナが正しいときは届出不要ですが、もし誤りがあつたときは届出が必要となります。

届出についての詳細は、役場の担当(税務住民課・戸籍グループ)へお問い合わせください。

○民生費

・定額減税補足給付金(不足額給付)支給事業

3391万円増



・介護人材育成・確保支援事業  
241万1千円減

○衛生費

・地域保健推進経費  
226万9千円減

○農林水産業費

・生産振興対策事業経費  
1848万円増

○商工費

・中小企業融資事業  
1000万円減

・商工振興事業経費  
400万円増

○土木費

・河川維持管理経費  
270万円増

・ときわ公園管理経費  
1492万8千円増

・下水道事業会計繰出金  
133万2千円増

○消防費

・防災対策事務経費  
222万3千円増

○教育費

・学校施設管理経費  
154万9千円増

○給与費

・職員等人件費  
2084万8千円増

歳入の主なもの

(100万円以上)

○使用料及び手数料  
・道路占用料  
310万4千円増

○国庫支出金  
・マイナンバーカード交付事務費補助金  
216万9千円増

・地域公共交通確保維持改善事業費補助金  
296万2千円減

・デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）  
478万5千円増

・社会保障・税番号制度システム整備費補助金  
215万5千円増

・重点支援地方交付金  
3391万円増

○道支出金  
・強い農業づくり事業費補助金  
1606万1千円増

・畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業補助金  
241万8千円増

・国勢調査委託金  
166万6千円増

○財産収入  
・株券払戻金  
400万円増

○繰入金  
・財政調整基金繰入金  
2537万1千円減

・まちづくり基金繰入金  
1404万3千円増

・産業づくり基金繰入金  
400万円増

○繰越金  
・前年度繰越金  
6751万8千円増

○諸収入  
・中小企業貸付金元利収入  
1000万円減

・地域公共交通確保維持改善事業費補助金  
796万2千円増

○町債

・脱炭素化推進事業債  
220万円増

◇国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

令和6年度決算により剰余金が生じたことによる繰越整理が主なもので、歳入歳出それぞれ990万9千円を追加し、予算の総額を8億8895万5千円とするもの。

◇後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

令和6年度決算により剰余金が生じたことによる繰越整理が主なもので、歳入歳出それぞれ123万5千円を追加し、予算の総額を1億6696万7千円とするもの。

◇介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

令和6年度決算による繰越整理が主なもので、歳入歳出それぞれ123万5千円を追加し、予算の総額を1億6696万7千円とするもの。

◇水道事業会計補正予算（第1号）

水道施設賠償責任保険料の増額により、収益的支出を4千円追加し、収益的支出の総額を3億8388万7千円とするもの。

越金及び第1号被保険者介護保険料滞納繰越分の整理が主なもので、歳入歳出それぞれ1億9217万7千円を追加し、予算の総額を11億1779万9千円とするもの。

・介護サービス事業勘定  
令和6年度決算に伴う歳計剰余金の整理で、歳入歳出それぞれ366万1千円を追加し、予算の総額を1073万7千円とするもの。

越金及び第1号被保険者介護保険料滞納繰越分の整理が主なもので、歳入歳出それぞれ1億9217万7千円を追加し、予算の総額を11億1779万9千円とするもの。

・介護サービス事業勘定  
令和6年度決算に伴う歳計剰余金の整理で、歳入歳出それぞれ366万1千円を追加し、予算の総額を1073万7千円とするもの。

人事異動に伴う職員人件費の増額により、収益的支出を133万2千円追加し、収益的支出の総額を6億5874万3千円とするもの。

## 意見書

議員から提出された4件の意見書については、次のとおり決定しました。

① 地方財政の充実・強化に関する意見書

【原案可決】

② 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書

【原案可決】

③ 消費税を緊急に引き下げを求める意見書

【起立採決・否決】

議員名	賛否
工藤秀一	×
米川恵美子	×
小笠原直治	○
鳥越真由美	×
三浦恵美子	○
箱崎英輔	×
内藤圭子	○
高山正人	○
梅森敬仁	×
多田政拓	(議長)

④ ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

【原案可決】

可決された意見書は安平町議会議長名で、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣（こども政策、少子化対策、若者活躍、男女共同参画、共生・共助）に提出しました。

### 訂正とお詫び

前回のあびら議会だより（第76号）において、記載の誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。

### 【訂正箇所】

3ページ 請願の審査の項目で、議決結果の表記を誤っていました。

（誤）【起立採決・否決】

（正）【起立採決・採択】



## 研修報告

### 北海道町村議会議員研修会

7月8日（火曜日）



道内の町村議会議員を対象とした議員研修会が札幌市の札幌コンベンションセンターで開催され、安平町議会からは8名の議員が出席しました。

研修は、西南学院大学法学部教授の勢市智子（せいいちともこ）氏と元岩手県知事の増田寛也（ますだひろや）氏を講師に迎え、「地

方議会における議員の多文化に向けて」、「人口減少社会を生き抜くために」と題して講演がありました。

地方議員のなり手不足が課題の中、若者が議員になりたいと思える社会であるか。

ジェンダーバイアス（男女の役割に固定的な観念を持つこと）や北海道の男女

格差が埋まらないことへの意識改革が必要で、若者に限らず多様な人材を議会へ参画させるためには、経験ある議員こそが、議会が果たすべき役割や責任を次世代に伝えていくべきであると講演されました。

# 第4回 臨時会

4月30日に臨時会を開催。専決処分事項の承認8件と人事案件1件、各会計補正予算2件を審議しました。

## 専決処分事項の承認

▼安平町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について（令和7年3月26日専決処分）

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正において、スマートフォンにマイナンバーカードの機能を搭載することにより本人確認が出来るようにするための仕組みに関する項目が新設されたことに対応するもの。

▼安平町税条例等の一部を改正する条例の制定について

て（令和7年3月31日専決処分）

令和7年3月31日に公布された地方税法等の一部改正による町民税の特定親族特別控除の創設及び軽自動車税・たばこ税の改正に対応するもの。

▼安平町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について（令和7年3月31日専決処分）

令和6年3月31日の地方税法施行令の一部改正により、基礎課税額の限度額及び後期高齢者支援金課税額の賦課限度額の引き上げと国民健康保険税の軽減対象となる所得の基準額を改正するもの。

▼令和6年度安平町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について（令和7年3月31日専決処分）

令和6年度決算において確定した未処分剰余金2億4109万4444円のうち純利益である6416万8101円を減債積立金に積み立てる処分を行うもの。

▼令和6年度一般会計補正予算（第14号）について（令和7年3月31日専決処分）

補正第13号以降に予算額に変動があったものについて整理して専決処分したもので、歳入歳出それぞれ1億6099万1千円を減額し、予算の総額を98億3404万5千円とするもの。

### 歳出の主なもの

（100万円以上）

- 総務費
  - ・その他一般管理経費 2288万1千円減
  - ・総合行政ネットワークシステム運用事業 110万4千円減
  - ・庁舎管理経費 160万円減
  - ・町有施設管理経費 328万1千円減
  - ・定住促進事業 810万円減
  - ・まちづくり基金積立金 110万8千円増
  - ・産業づくり基金積立金 118万5千円増
  - ・ひとつづくり基金積立金 217万8千円増
- 衛生費
  - ・地域保健推進経費 136万5千円減
  - ・予防接種事業 141万8千円減
  - ・新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 633万4千円減
- 民生費
  - ・国民健康保険事業特別会計繰出金 376万9千円増
  - ・しょうがい者自立支援事業経費 824万円減
  - ・児童館運営経費 158万9千円減
- 土木費
  - ・除雪対策経費 639万9千円減
  - ・町道整備事業 296万6千円減
  - ・橋りょう施設維持管理経費 883万8千円減
  - ・公営住宅管理経費 161万1千円減
- 教育費
  - ・学校施設管理経費 173万8千円減
  - ・就学援助経費 187万1千円減
  - ・教育振興経費 104万5千円減
  - ・公民館施設管理経費 575万9千円減
  - ・体育施設管理経費 271万3千円減
  - ・スキー場運営経費 342万5千円減
- 農林水産業費
  - ・農業振興資金貸付事業経費 500万円減
- 商工費
  - ・商工振興事業経費 500万円減
- 給与費
  - ・職員等人件費 1214万7千円減